

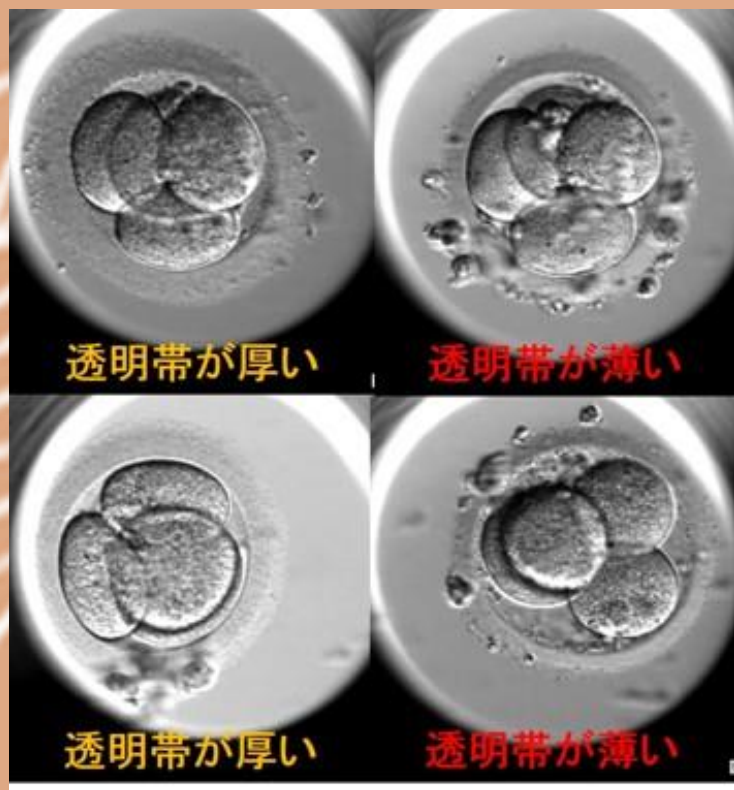
体外受精セミナー のご案内

11月17日(土) 15:00~

扇町ARTレディースクリニック5階メインフロアにて開催
受講料無料

ご予約はこちらから→ <https://www.olc.ne.jp/contact/>
06-6311-2511

体外受精ってどんな治療なの？費用がかかりそう…。仕事しながらの体外受精は無理でしょ…。イメージだけで思いとどまっていませんか？
積極的に体外受精を考えているだけでなく、治療の今後の見通しを立てておきたい方、結果がなかなか出なくて困っている方など、お気軽に受講してみてください。



受精卵には、透明帯(卵子の殻)が厚いものや薄いものがあります。透明帯が厚い受精卵は、孵化ができるかどうか心配になってきます。当院では、移植時に患者様に透明帯の厚さについて説明させていただき、**孵化補助(アシステッドハッチング)**の実施をおすすめしています。逆に、透明帯が薄すぎる、かろうじて透明帯として存在しているような場合は、孵化補助を行うと移植時に受精卵が壊れてしまう恐れがあります。セミナーでは孵化補助についても詳しく説明いたします！

子宮の内膜には着床窓という、受精卵が着床しやすい時期があります。
一般的には排卵日から5-7日目に、着床窓が開いていると考えられていますが、この着床窓が開いている時期が個人によって異なる可能性があるということが最近の研究で分かってきました。
その着床窓が開いている時期を特定することができるのがERA検査です。

